

火災から命を守るために

「まさか！」の火事。 火災警報器で 助かる命が あります。

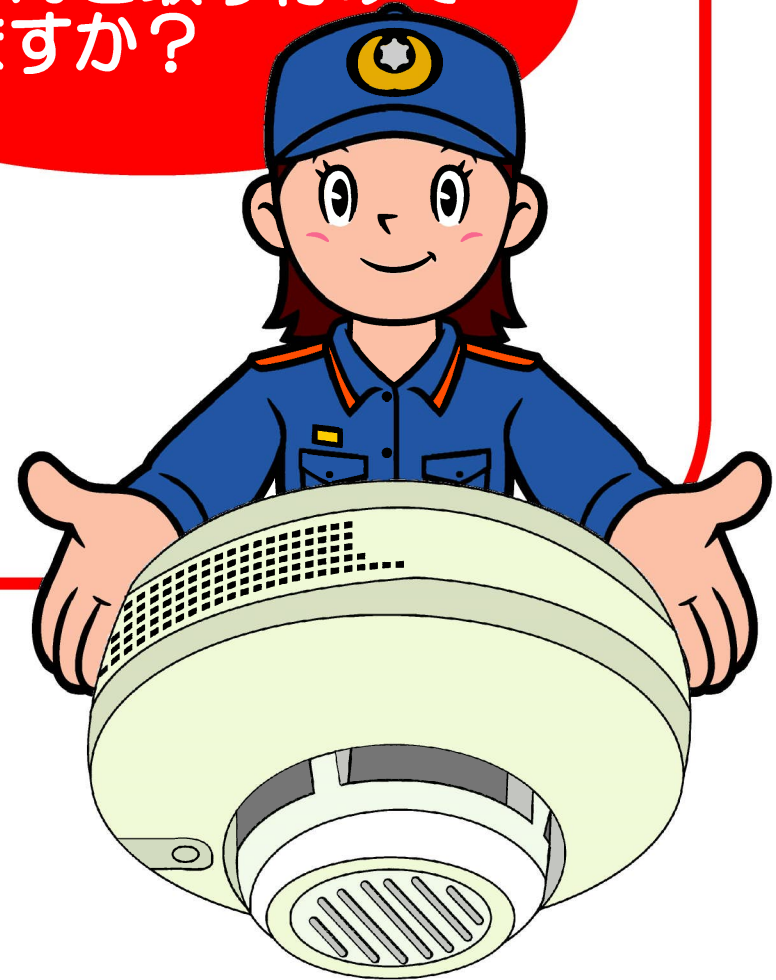
あなたの家にも
きちんと取り付けて
いますか？

火事は決して他人事ではなく、
どこの家庭にでも起こりうることです。
万が一の時でも、火災警報器があれば
いち早く火災を知らせてくれます。

住宅火災による死者は、逃げ遅れによるものが多く、その多くが高齢者です。
特に就寝時間帯は、昼間に比べてさらに死者が多くなっています。

あなたが寝ているときでも、24時間火災を監視してくれるのは住宅用火災
警報器です。寝室や階段の天井部分などには必ず設置し、火災発生時にいち早
く気付けるようにしましょう。

八女消防本部



火事はあなたの全てを奪います。

Q. 住宅用火災警報器はどこに取り付けたらいいの？

- 取り付けが義務付けられている所 → 寝室・階段
取り付けをおすすめしている所 → 台所・その他全ての居室

天井面に取り付ける場合



壁面に取り付ける場合



Q. 警報が鳴ったら？

火災の時

- 大きな声で周囲の人に知らせましょう。
- 避難しましょう。
- 119番通報しましょう。可能なら初期消火を。

火災ではない時

- 火災ではないのに火災警報器が鳴る場合があります。警報停止ボタンを押すか、ひき紐を引いて警報を止めて下さい。

電池切れの時

- 電池切れ警報が鳴ったら電池を新しいものに交換して下さい。
- 本体の寿命はおおむね10年ですので、設置した時期を確認しておきましょう。

(機器ごと交換するタイプもあります。)

Q. 煙式と熱式どちらを選べばいいの？

住宅用火災警報器には「煙式」と「熱式」の2種類があります。

煙式(光電式)



火災により発生する煙を感知する火災警報器。火災の初期から発生する煙を検出し、早期に発見できます。

熱式(定温式)



火災により上昇する熱を感知する火災警報器。台所などで大量の湯気や煙が出る恐れがある場所に設置します。

Q. 普段のお手入れ・点検は？

「住宅用火災警報器」にホコリなどが付くと火災を感知しにくくなります。半年に1回は掃除機などでホコリを取り、定期的に作動確認を行いましょう。

～点検方法～

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

正常な場合

正常を知らせるメッセージまたは火災警報器が鳴ります。



音が鳴らない場合

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。それでも鳴らない場合は「電池切れ」か「機器本体の故障」です。

